

英語リーディングA Reading A

薬：K2-06111MY、生命：K2-06111MS

素養科目 1、2、3 (薬)年／前期 1単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・理論言語学研究室)

授業担当者 A組1班：三山 美緒子、A組2班：長岡 真理子(非常勤講師)、A組3班：瀬戸川 順子(非常勤講師)
B組1班：長岡 真理子(非常勤講師)、B組2班：松井 直樹(非常勤講師)、B組3班：岡部 了也(非常勤講師)
C組1班：中野 里美(非常勤講師)、C組2班：岡部 了也(非常勤講師)、C組3班：松井 直樹(非常勤講師)
S組1班：竹村 哲明(非常勤講師)

■教育目的 (各クラス共通)

大学生に必要な国内外の動向を扱った英字新聞のテキストを読み、精読を含む総合的な読解力の構築と世の中に目を向けて考えることを目的とする。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標 (各クラス共通)

1. 様々な読み方の訓練を行い、状況に応じて使い分けられるようにする。(知識、技能)
2. 多様な題材を取り上げ、それらに特有の表現や段落構成に慣れ、正確に読み取れるようにする。(知識、技能)

■授業内容

A組1班 三山 美緒子

インターネット規制、動物実験など議論を呼ぶような社会問題を扱った英文を読み、英語のパラグラフの構成および論理展開のパターンを学ぶことによって読解力を向上させることを目標とします。社会問題に対する賛成・反対意見を述べる文章を読み、意見を述べる際によく使われる英語表現を覚え、自分の意見を英語で簡潔に述べる練習を繰り返すことで、幅広い問題に興味を持ち深く考える習慣を持ち、自分の考えを適切な英語で表せるようになることも目指します。

[No. 1] イントロダクション・授業の概要の説明

[No. 2-3] Unit 1 Internet Safety or Freedom of Expression?

[No. 4-5] Unit 12 Animal Rights or Human Profits?

[No. 6-7] Unit 4 Real Risk or Great Technology?

[No. 8-9] Unit 6 Separate Smoking Area or Total Ban?

[No. 10-11] Unit 7 Right to Die or Responsibility to Live?

[No. 12-13] Unit 10 Performance or Seniority?

[No. 14-15] これまでの復習

準備学習 (予習・復習)：予習：注を確認したりわからない単語を調べたりしながら指定された箇所を読み進め、理解できない箇所があれば授業中に質問できるように準備してください (40 分)。復習：教科書の内容を読み返し、必要があればインターネット等で下調べをして、自分の意見を準備してください。単語を復習し、単語テストに備えてください (30 分)。

授業形態：講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法：単語テストや教科書の内容理解問題で理解度を確認し、フィードバックを行います。平常点 (10%：予習、課題、単語テスト) と試験 (90%) で成績を評価します。

教科書：『Pros and Cons: Discussing Today's Controversial Issues』Ichizo Ueda, Toshiko Ueda, Chiaki Taoka, and Eri Yoneoka 著、National Geographic Learning (Cengage)

A組2班・B組1班 長岡 真理子(非常勤講師)

この授業では、福祉・医療など現代の社会問題に関するトピックの英文を通じて読解力の向上を図るとともに、幅広い分野へ関心を広げることも目的としています。また、語彙・文法の確認に加え、どの分野の文章を読む際にも必要となる、英語の文章の構造理解を深めることも目指します。効果的な学習効果を得るために必ず事前の準備をしてください。なおこの授業では、教科書前半の Unit 1-7 を扱う予定です。

[No.1] Course guidance /リーディング教材

[No.2-3] Unit 1 Health and Social Welfare 健康と社会福祉

[No.4-5] Unit 2 Care Workers from Overseas 外国人介護労働者

[No.6-7] Unit 5 Empowering Women 女性のエンパワーメント

[No.8-9] Unit 6 Sports Psychology スポーツ心理学

[No.10-11] Unit 7 I Don't Have Money but Need Treatment 十分なお金はないけれど、治療は受けない

[No.12-14] これまでの復習

[No.15] 期末課題に取り組む

準備学習 (予習・復習)：予習：教科書の当該箇所の予習。トピックによってはその背景知識を得る。(60 分以上)／復習：授業中に学習した内容及び語彙の確認 (30 分以上)

授業形態：グループワーク、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験（80%）、小テスト（20%）で総合評価する。
教科書：「Thinking about Human Life and Society - 人間生活と社会福祉を読み解く新たな視点」茨木正志郎 他 著（南雲堂）

A 組 3 班 瀬戸川 順子(非常勤講師)

今後、より専門的な文献の読解を要求されることを想定して、基本的理解力の充実を図る。下記テキストにより、食と音楽という身近な話題から、実際に使用される英語の表現の多様性や文化的背景に親しむ。文法事項を確認しながら精読するが、慣れたら次第に速度を上げたい。自分で調べる手間を惜しまないで、英和辞書を用意しておくこと。また、随時プリントを使用して速読を試みる。

[No.1] インTRODクション 概容説明 その他

[No.2-3] Chapter1 The Beatles とイチゴ

[No.4-5] Chapter2 フジコ・ヘミング、ポテトパンケーキ

[No.6-7] Chapter3 モーツァルト 1 ザルツブルグの料理

[No.8-9] Chapter4 モーツァルト 2 旅行とヨーロッパ各地の味

[No.10-11] Chapter5 ベートーヴェンのこだわり

[No.12-13] Chapter6 滝廉太郎のドイツ留学

[No.14] Chapter7 ショパンとジョルジュ・サンド

[No.15] まとめ

準備学習（予習・復習）：予習：各章のテーマに関して調べておく。／復習：論理の展開、新出単語やそれに関連した表現等を再確認する。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：練習問題・単語テスト等で理解度を確認し、フィードバックを実施、期末試験（90%）、小テスト（10%）で総合評価する。

教科書：At the Musician's Table: Food and Music 朝日出版社 978-4-255-15722-1

参考書：英和辞典（すでに所持しているものでよい）

B 組 2 班・C 組 3 班 松井 直樹(非常勤講師)

この授業の目的は“英語リーディング”という授業形態を通して、英文読解力・理解力の向上のみならず、筋道を立てて考えを構築する力、批判的に物事を考察する力を養うことにあります。科学技術関連のトピックを扱う BBC / Future ウェブサイトの記事をもとにして書かれた Innovation and Technology をテキストとして使用し、その英文を丁寧に読み進めながら、これらの能力を育成することになります。

授業は講義形式で進めることとなります。教員がパワーポイントで作成した資料を提示してテキストの英文や内容を解説します。学生は素早く、的確にノートをとる作業を行うこととなります。円滑な授業運営を行うために、毎回テキストの指定箇所に対して予習が課されます。

加えて、テキストの内容を超えた英語読解力や幅広い視野を養うために、事後学習では英字新聞・雑誌などを活用して学習することが求められます。

[NO.1] オリエンテーション／ Essay Writing

[NO.2] Unit 1 Driving with the Terminator: Augmented Reality for Cars [1]

[NO.3] Unit 1 Driving with the Terminator: Augmented Reality for Cars [2]

[NO.4] Unit 2 Artificial Human Beings: Intelligent Robots [1]

[NO.5] Unit 2 Artificial Human Beings: Intelligent Robots [2]

[NO.6] Unit 3 Electricity with a Kick: Soccer Ball Power [1]

[NO.7] Unit 3 Electricity with a Kick: Soccer Ball Power [2]

[NO.8] Unit 4 Sustainable Cities: China's Green City [1]

[NO.9] Unit 4 Sustainable Cities: China's Green City [2]

[NO.10] Unit 5 Recreating the Sun on Earth: Nuclear Fusion [1]

[NO.11] Unit 5 Recreating the Sun on Earth: Nuclear Fusion [2]

[NO.12] Unit 7 Plastic that Bleeds: Self Healing Materials [1]

[NO.13] Unit 7 Plastic that Bleeds: Self Healing Materials [2]

[NO.14] これまでの復習／ Essay Writing

[No.15] 期末課題に取り組む

準備学習（予習・復習）：事前学習：テキストの指定箇所を予習（1 時間以上）／事後学習：授業内容の確認；英字新聞・雑誌を読んでみる（1 時間以上）

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験（60%）、授業ノート提出（30%）、課題（10 %）の合計で成績を評価します。

教科書：『Innovation and Technology - 未来を見つめる科学英語』David Rear・印南洋・川口恵子・村上嘉代子著（南雲堂）

B 組 3 班・C 組 2 班 岡部 了也(非常勤講師)

本授業では、様々な内容に関する英文新聞記事を読むことにより、英語で書かれた文章を正確に読み取る訓練を行う。テキストは、政治、環境、テクノロジー、スポーツといった幅広いテーマに関するニュース記事とそれに関連した練習問題から構成される。授業中は、文章の読解および練習問題を通して、様々な分野に関する語彙、イディオム等の表現および文法

知識の拡充を図る。この授業では、テキストの前半の Chapter1 から Chapter7 までを取り上げる予定である。

[No. 1-2] News 1: Koike leans on her achievements to win Tokyo Gov.'s race; Renho weighed down by JCP Ties

[No. 3-4] News 2: Global economy picking up, though medium-term outlook weaker, IMF says

[No. 5-6] News 3: Japan's Stock Market Is Booming. It Isn't All About the Weak Yen

[No. 7-8] News 4: G7 leaders end summit with warning to China, commitment to manage AI

[No. 9-10] News 5: China says military drills encircling Taiwan designed to test its ability to 'seize power'

[No. 11-12] News 6: US President Joe Biden ends reelection bid

[No. 13-14] News 7: Godzilla, Hayao Miyazaki both take home Oscars; first double win for Japanese films since 2009

[No. 15] これまでの復習

準備学習（予習・復習）： 予習：文章中の知らない単語や成句等の表現を調べ、ある程度文章の内容を理解しておく。また、練習問題に関しては、答えを考えておく。(1 時間)/復習：授業中に確認した単語・表現や文法事項、練習問題の解答等を再度確認し、文章の内容に関し理解を深めておく。(1 時間)

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法： 期末試験の成績(100%)で評価する。

教科書：『English for Mass Communication - 2025 Edition -』 堀江洋文 他著(朝日出版社)

C 組 1 班 中野 里美(非常勤講師)

国内外のニュース記事を読み、語彙、文法、構文、表現に注意して精読し、高度な内容の英文に慣れることを目的とします。なおかつ、大学生として知っておくべき世の中の情勢にも目を向け、情報を得て、興味の範囲を広げていくことを目標とします。進度として、テキストは前期で半分程度を予定しています。

[No.1] introduction

[No.2] Author Takano says Japan has become 'outlying zone' in the world

[No.3] All Japanese will be 'Sato' by 2531 if Japan keeps same-surname marriage system: research

[No.4] Japan business leaders call for choice of separate surnames

[No.5] In Taiwan, a group is battling fake news one conversation at a time

[No.6] Kyoto may launch tourist express bus service to beat overcrowding

[No.7] Osaka weighs 'entry fee' or foreign tourists in bid to combat overtourism

[No.8] Illegal Mopeds and Fake Names

[No.9] Japan produces 1st pigs designed for organ transplants

[No.10] Marshall Islands seeks to partner with Japan on nuclear issues

[No.11] Mass kidnappings of Nigerian students leave parents in shock and despair

[No.12] Foreign firefighters stifled by Japan government bureaucratic smoke screen

[No.13] UN chief urges the EU to avoid 'double standards' over Gaza and Ukraine

[No.14] Russian Veto brings an end to the UN Panel that monitors North Korea Nuclear sanction

[No.15] まとめ

準備学習（予習・復習）： 予習：事前に注を参考に読み進めておき、分からない箇所がないか調べておきましょう。分からない箇所は授業で疑問解消していきましょう。(1 章ごとに約 30 分前後)

復習：資格試験などを今後、受験する際には問題として使用される語彙や内容も出てきます。それを意識して自分が活用することを想定して内容を見直したり、さらに調べたり、覚えたりしていきましょう。(1 章ごとに約 30 分前後)

授業形態：課題解決型学習、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法： 課題(レポート、試験等)のフィードバックについて：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。

成績評価方法：平常点(30 %：ウォーミングアップで配布する TOEIC reading やテキスト内の Multiple Choice、True or False の問いや、こちらからの質問に答えるものなど)、試験(70 %)で評価します。

教科書：English through the News Media 2025 Edition by Asahi Press 1980 円

(ISBN:978-4-255-15728-3)

参考書：あれば授業内で紹介するか、プリントを配布します。

その他：不明な点があれば質問して下さい。

S 組 1 班 竹村 哲明(非常勤講師)

TOEIC の獲得スコア向上を念頭に置き、平易なリーディング教材の読解と演習により語彙力の強化をはかります。希望者には適切なリスニング対策も指導します。

1. Introduction

2. Unit 1 Shop Names

3. Unit 2 How to Get a Seat on a Train

4. Unit 3 False Rumors and Panic Buying

5. Unit 4 Keeping Your Smartphone Clean

6. Unit 5 Staying Safe While Walking

7. Unit 6 Colorful Hair Styles

8. 小テスト実施

9. Unit 7 Smartphone Cameras

- 10. Unit 9 Have You Joined a Club or Circle?
- 11. Unit 11 Learning English Through Gaming
- 12. Unit 13 Walking and Talking
- 13. Unit 14 Are You Going Cashless?
- 14. Unit 15 Shibuya Halloween
- 15. Conclusion

準備学習（予習・復習）：予習：翌週の学習事項を確認し、内容について把握する。(30 分以上)

復習：既習事項をまとめて試験に備える。(30 分以上)

授業形態：課題解決型学習、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：1、授業内の取り組み(30 %)／2、小テスト(20 %)／3、
期末試験の点数(筆記試験：50 %)

教科書：『入門・考える基礎英語読本(Read on, Think on - Ultra-basic Level)』 Jonathan Lynch 他著 三修社 2021 年

その他：質問・相談があれば授業時間前後に対応します。

詳細は初回授業でお話します。